

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	埋蔵文化財センター管理事業					事務事業コード	01804
部 名	生涯学習部	課 名	文化財課	係 名	文化財保護係	部課コード	120500

1. 事業概要

総合計画コード	3411	年度 ~ H	年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業 <input type="radio"/> ハード事業		
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input checked="" type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 朝霞市埋蔵文化財センター設置及び管理条例			
めざす目的成果	埋蔵文化財保護のための埋蔵文化財センターが適切に維持管理され、整理作業が安全に行われている。						
事業内容	埋蔵文化財センターの管理・運営を行う。						
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 夜間警備業務及び、消防設備点検、空気調和設備点検を委託している。						

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		埋蔵文化財センターの管理・運営を行った。						
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込			
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		1,968	1,775	1,703			
	財源内訳	[イ]国庫支出金						
		[ロ]県支出金						
		[ハ]地方債						
		[ニ]その他						
		[ホ]一般財源	1,968	1,775	1,703			
b 人件費		3,664	4,030	4,763				
総コスト(a 事業費 + b 人件費)		5,632	5,805	6,466				
投入労働量		常勤職員等(人工)	0.50 人	0.55 人	0.65 人			
		一般職非常勤職員等(時間)	0 時間	0 時間	0 時間			
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳		需用費 965千円 役務費 88千円 委託料 562千円 使用料及び賃借料 88千円 計 1,703千円						
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度		
活 動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( — )	12 ( — )	H 32 年度		
	②		( )	( — )	( — )	H 年度		
成 果	① 開所日数	日	301 ( 292 )	301 ( — )	301 ( — )	H 32 年度		
	②		( )	( — )	( — )	H 年度		

### 3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 市内発掘調査で出土した埋蔵文化財の保存・活用を行う拠点施設として必要である。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 施設の管理・運営を適切に実施することができた。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 来館者が快適に利用できる環境を整えるよう努めた 参加と協働: 利用しやすい施設にするため、市民と情報を共有するよう努めた 経営的な視点: 埋蔵文化財発掘調査出土遺物の保存・活用を行う拠点施設として、適正に管理した			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input type="radio"/> I 見直す余地がない	<input checked="" type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> 埋蔵文化財への理解を深めるため、展示コーナーの充実を図って行く必要がある。 建物の老朽化に伴い必要に応じた修繕を行う必要がある。		

### 4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで )				
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
今後の取組方針	<input checked="" type="radio"/> A 見直して継続 <input type="radio"/> B 現状のまま継続				
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大	(実施時期: H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善	(実施時期: H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し	(実施時期: H	年度)	
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し		(実施時期: H	年度)		
	<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大	(実施時期: H	年度)		
	<input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大	(実施時期: H	年度)		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(実施時期: H	29	年度)	
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	・見学者増を図るべく展示コーナーの充実を行う。 ・建物の老朽化に伴い、必要に応じて修繕を行う。 ・発掘調査で出土した埋蔵文化財の保存場所として、旧朝霞第四小学校の代替について検討していく。				